

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 中学校音楽祭
-------------------	---------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	1	市民の文化・芸術活動の育成・支援
小分類	1	市民文化活動の活性化
主要な施策	1	文化活動の成果を発表する機会の充実
事務事業番号	001	事務事業コード 53111001 事業開始年度 平成 6 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	中学校音楽祭経費
------	------	------------	----------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 中学生及び一般市民
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 毎年、市内中学校で実行委員会を組織し開催している。 平成 2 0 年度は、1 0 月 6 日に市民会館で、各中学校による合唱、マンドリンや吹奏楽の演奏を行った。 参加者約 4 0 0 名。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 児童・生徒の文化活動で全国及び北海道大会に出場するものに対し、その経費の一部を助成し、保護者の経費負担の軽減と児童・生徒の文化の向上を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	参加者数	人	目標値	130	130	130	130	130
			実績値	58	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	221	215	213	213	213	639
合 計				221	215	213	213	213	639
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	377	394			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		377	394			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 校内でしか発表機会のないものについては広く一般に発表する良い機会になっている。また、大会等の参加機会に恵まれているものについては、お互いに研究の機会にもなっており、意義深い。市内の全中学校の参加で開催するには、市の事業として実施するのが妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 昨年はインフルエンザの流行により、参加校が例年より1校少なかったが、毎年、学校ごとに発表内容について工夫・研究され、参加者相互の交流が図られている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 発表する生徒の保護者だけでなく一般市民にも鑑賞の機会として解放することで、参加者の意欲を更に向上させることができると考える。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 経費の殆どが生徒送迎用のバスと楽器運搬にかかっているため、削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	生徒への発表機会の提供と市民への鑑賞機会の提供、相互交流の機会を提供するという観点からも、事業の実施が必要である。また、中学生が伝統文化（三味線など）に触れ合う機会としての方向転換が求められている。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）